

	方剂名	効能	生薬組成
	書籍	主治および証	病機 方意
<b>和解剤 調和肝脾剤 8</b>			
	かんぞうとう 甘草湯	清熱解毒・潤肺止咳・解痙止痛	甘草 6g 水煎し服用する。
	傷寒論	<p>軽度の炎症、けいれん性疼痛、種々の中毒に用いる。</p> <p>甘草は鎮静、鎮痛作用のほか、祛痰作用、薬物、代謝産物などに対する解毒作用、抗アナフィラキシー作用などがあり、生甘草は消炎作用をもつ。また副腎コルチコイド様作用によってNaを貯留し抗利尿に働き、著しい場合には浮腫を生じる。この抗利尿作用に対しては、白朮・茯苓などの利尿剤を配合することによって解決できる。この他、諸薬の刺激性を緩和し、調和させる作用を合わせ持つ。</p>	